## 加湿セラミックファンヒーター保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

| 型式 | HLC-1200 | ※ お 買 い 上 げ 日 | 保 証 期 間 |
|---|---|---|---|
| | | 平 成 年 月 日 | 本 体 : 1 年 |
| ※お客様 | ご 住 所<br>ご 芳 名 | 〒 -<br>様 | |
| ※販売店 | 住 所<br>店 名 | 〒 -<br>TEL | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体ラベル等の注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
   (ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、ご相談窓口(☞18ページ)にご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞18ページ)にご連絡ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、ご相談窓口(☞18ページ)へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
   (ニ)車輌、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞18ページ)にお問合わせください。
● 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☞17ページ)をご覧ください。
● This warranty is valid only in Japan.

修理メモ


株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29(アクロポリス東京)
TEL.03(3260)9611
FAX.03(3260)9739


110823-05

取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入後、お受け取りください。

家庭用

# 加湿セラミックファンヒーター

## 型式 HLC-1200
エッチエルシー 1200

このたびは加湿セラミックファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは保証書とともに大切に保存してください。

## 目 次



Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

●この加湿セラミックファンヒーターは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
　思わぬ事故の原因となります。
●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

# 安全のため必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| ⚠警告 | ⚠注意 |
|---|---|
| この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 絵表示の例

この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

## ⚠ 警告

分解禁止

**絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。**

●異常動作してケガや発火の原因になります。

禁止

**開口部やすき間に、ピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。**

●感電や異常動作してケガをすることがあります。

禁止

**本体内部お手入れに塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しないでください。**

●洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

禁止

**スプレー缶等を本体の上や近くに置かないでください。**

●爆発や火災の原因になります。

**さし込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。**

●感電や発熱による火災の原因になります。

禁止

**電源コードを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。**

●電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止

**コンセントのさし込みがゆるいときは、使用しないでください。さし込みプラグとコンセントの間にホコリや水分を付着させないでください。**

●感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

**幼児の手の届く範囲で使わないでください。**

●感電・やけどをおこす恐れがあります。

**次のような方がお使いの時は、特に注意してください。乳幼児、自分で温度調節(又は操作)のできない方。**

●やけどの恐れがあります。

禁止

**水につけたり、水・お茶・ジュース等をかけたりしないでください。**

●ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手操作禁止

**ぬれた手でさし込みプラグを抜き差ししないでください。**

●感電の原因になります。

禁止

**長時間同じところを温め続けないでください。**

●やけどや低温やけどの原因になります。

禁止

**カーテンなど燃えやすいものの近くや不安定な場所で使用しないでください。**

●転倒してケガをしたり、故障や事故の原因になります。

**さし込みプラグのほこりなどは定期的に取ってください。**

●ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

プラグを抜く

**使用時以外は、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。**

●ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

## ⚠ 警告

禁止

**交流100V以外では使用しないでください。**

●異常発熱して、火災の原因になります。

**定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。**

●異常発熱して、火災の原因になります。

## ⚠ 注意

禁止

**使用中やタンク、トレイに水を入れたまま本体を持ち運ばないでください。**

●水がこぼれる原因になります。

禁止

**本体をテレビやオーディオ等の電気製品の上に置かないでください。また、熱に弱い家具やテーブルなどの上に置かないでください。**

●テレビやオーディオ、パソコン等の故障や感電の恐れがあります。

禁止

**送風口に顔や手などを近付けないでください。**

●やけどの原因になります。

禁止

**使用中の本体の上に、紙や布などをかぶせたり、吸気口や送風口をふさいだりしないでください。**

●故障や事故の原因になります。

**さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のさし込みプラグを持って引き抜いてください。**

●絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
●感電やショートして発火することがあります。

禁止

**犬や猫等のペットの暖房用には絶対に使用しないでください。**

●ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

禁止

**高湿、雨や水のかかる場所、火気の近く、油のかかる場所、引火性のガスのある場所では使用しないでください。**

●故障や事故の原因になります。

**タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れをしてください。**

●お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によっては過敏に反応し健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

禁止

**直射日光の当たるところ、暖房器具の近くや上には置かないでください。**

●プラスチック部分が変形したり、タンク内の水があふれたりする恐れがあります。

禁止

**湿度が高くなるところで使用しないでください。**

●感電・故障・火災などの原因になります。

禁止

**風が直接、家具、壁、天井、電気製品などに当たるところには置かないでください。**

●家具などにシミや変形ができたり、電気製品の故障の原因になることがあります。

禁止

**使用中や使用直後、お手入れをしないでください。**

●高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁止

**タンク内には、水道水以外(アルカリイオン水等)は入れないでください。**

●故障の原因になります。

プラグを抜く

**お手入れの際は、必ずさし込みプラグを抜き本体が冷めてから行なってください。**

●不意に作動して、ケガをしたり、感電の原因になります。

禁止

**スプレーをかけないでください。(殺虫剤、整髪用、掃除用など)**

●樹脂や塗装部分が変質したり、破損する恐れがあります。

禁止

**不安定な置き場所では使用しないでください。また、電気製品や家具等の上では使用しないでください。**

●転倒すると、水がこぼれる原因になります。また、電気製品の故障や感電、家具を傷める原因になります。

禁止

**就寝中は使用しないでください。**

●寝具等が触れると火災の原因になります。

禁止

**電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かないでください。**

●正常に動作しないことがあります。

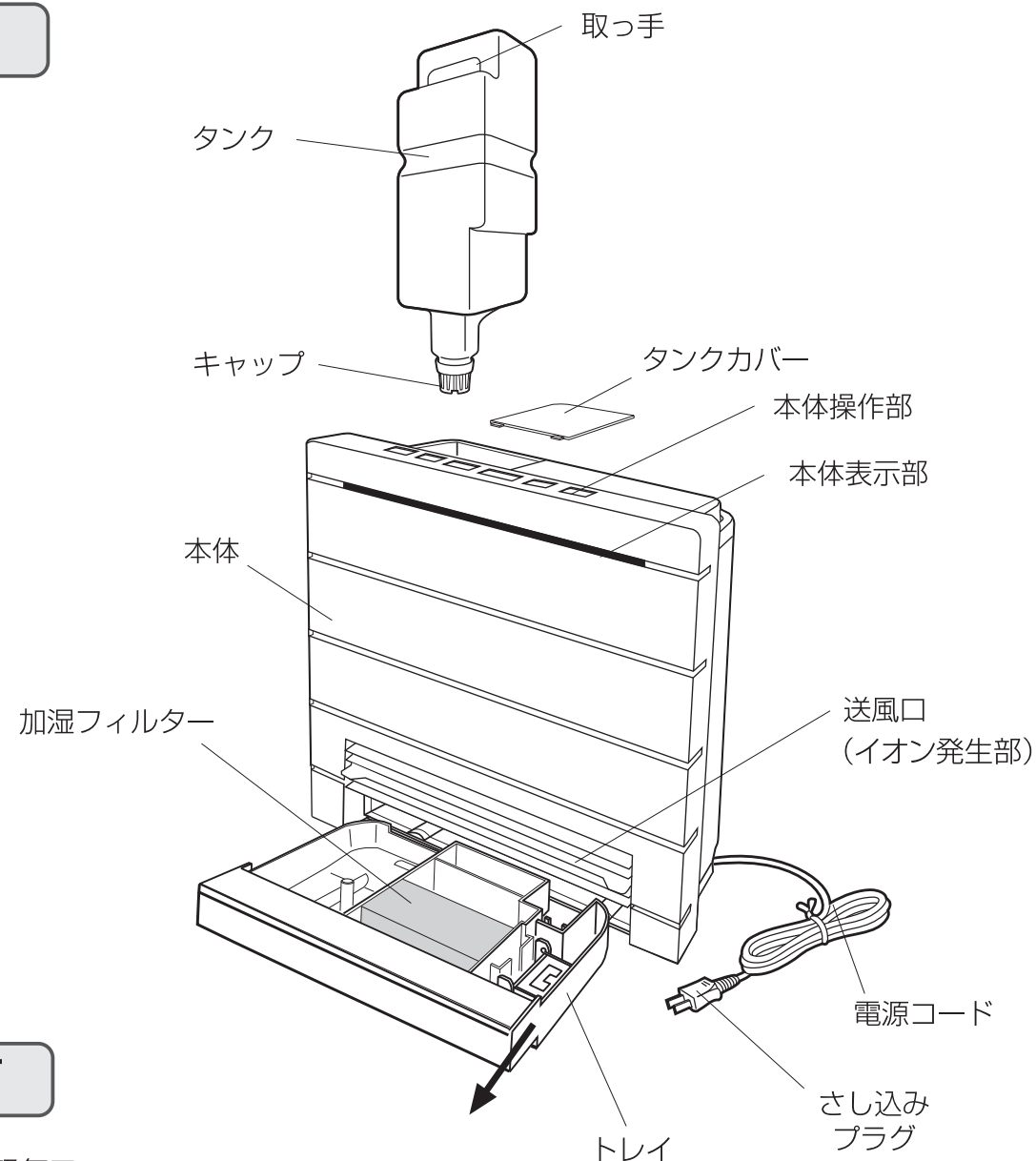
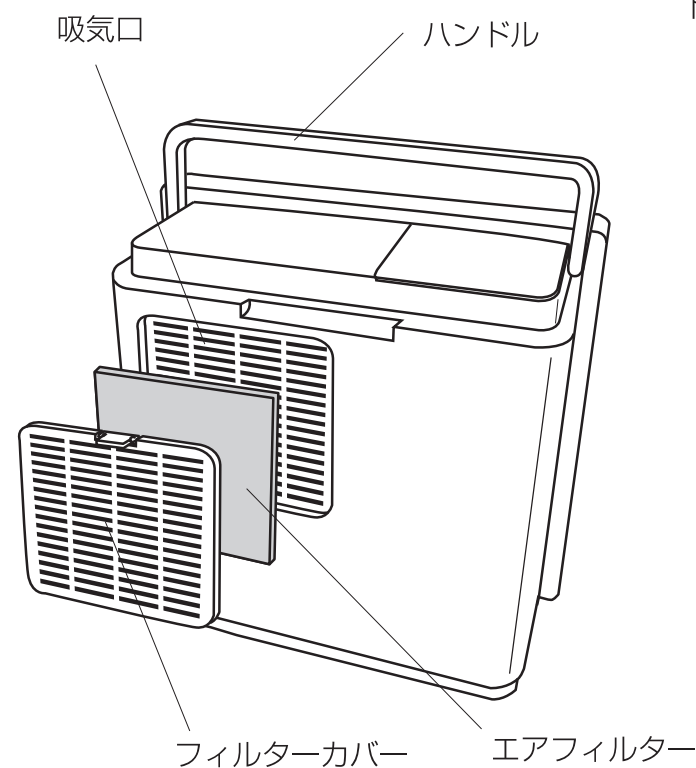
## 正 面

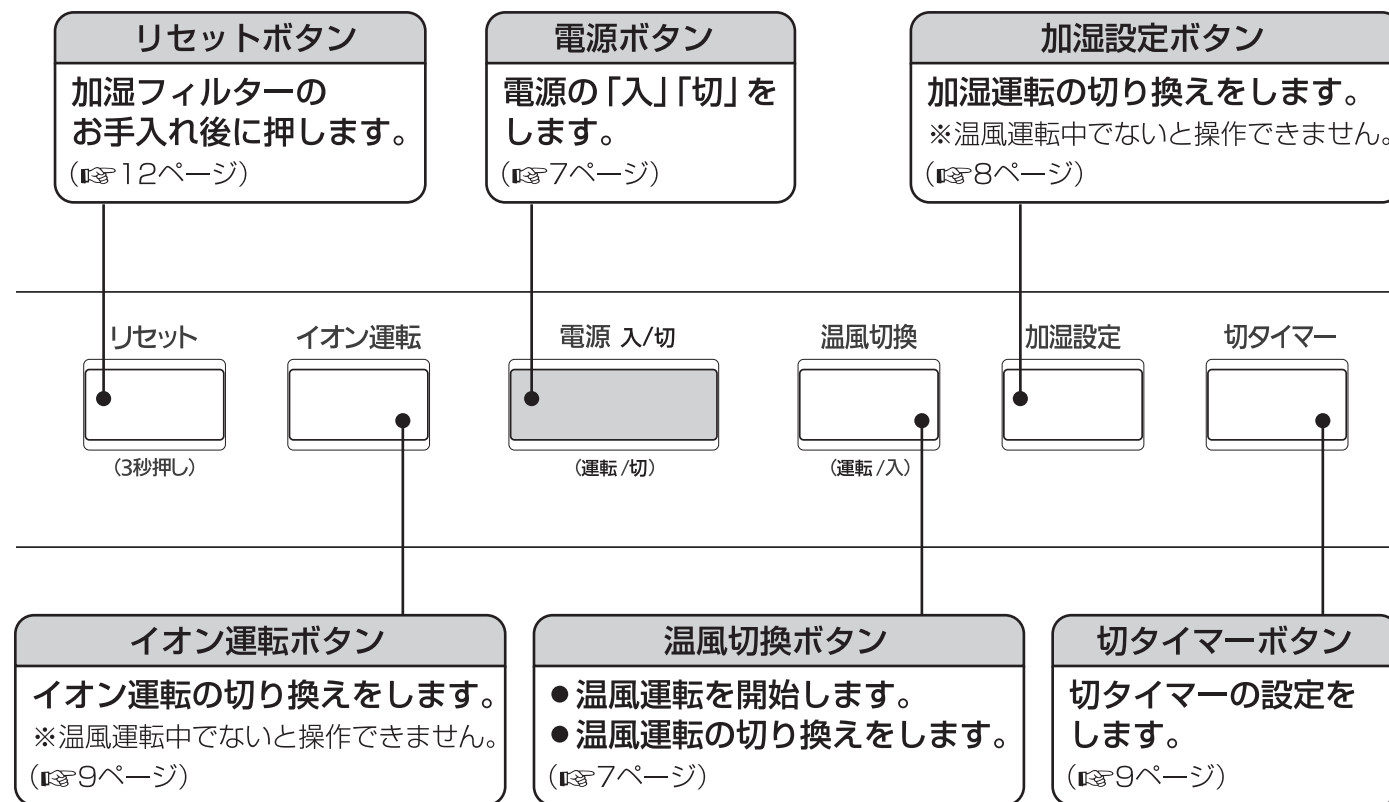
取っ手
タンク
キャップ
タンクカバー
本体操作部
本体表示部
本体
加湿フィルター
送風口
（イオン発生部）
電源コード
さし込み
プラグ
トレイ

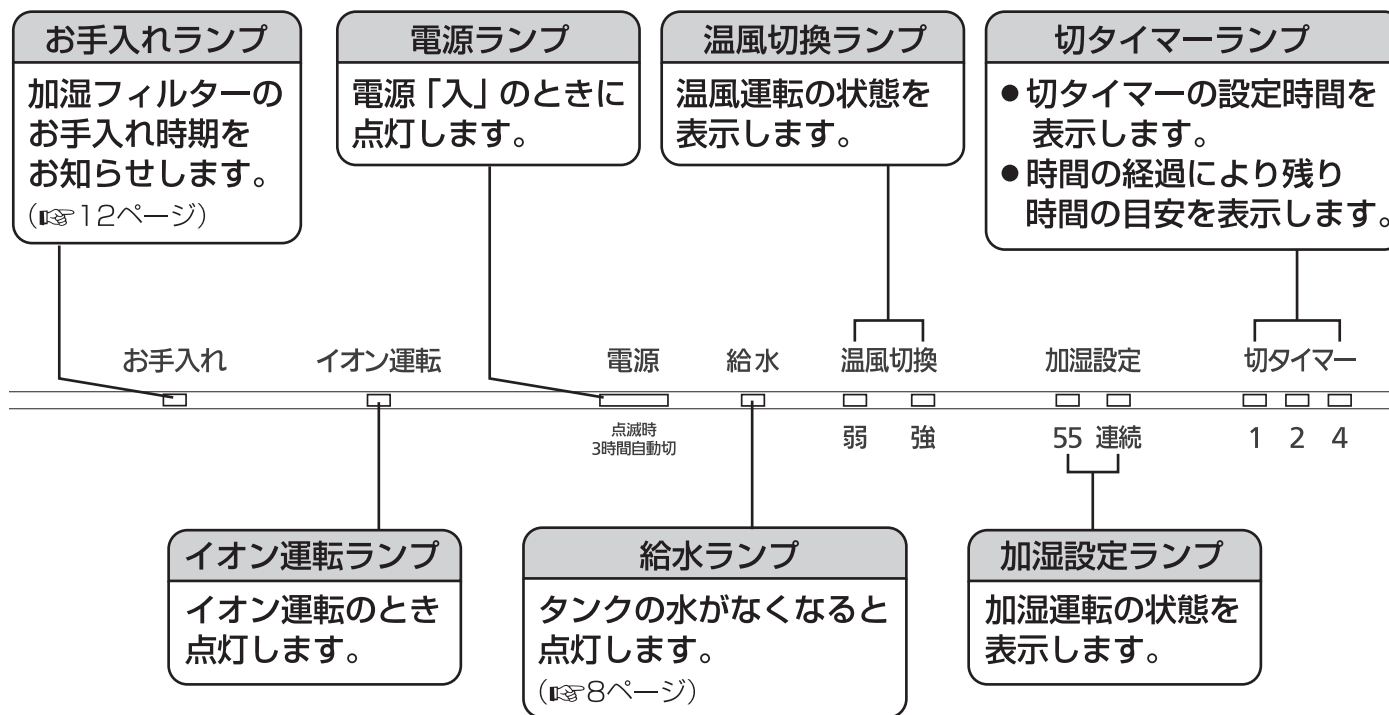
## 裏 面

吸気口
ハンドル
フィルターカバー
エアフィルター

**付属品**

ナノシルバーパック
・・・2パック

## 操 作 部

（本体上面）

## 表 示 部

（本体正面）

# 使いかた ご使用の前に

■このセラミック温風ヒーターは、室内(居住空間)の加湿及び採暖用です。

## フィルター気化式加湿について

この製品は、加湿フィルターに含ませた水を温風により気化させる加湿方式のため、送風口からは湯気(蒸気)は見えません。

**絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。**

●イオンを発生させる高電圧発生ユニットを使用しています。

## 使用場所について

**■必ず安定した水平な台の上に置いてください。**

次のような場所や状態での使用はしないでください。
故障の原因になります。

■本体が傾いた状態
- ●水もれの原因になります。

■不安定なところ
- ●不安定な場所や、棚・家具などの高い所に置いて使用しないでください。

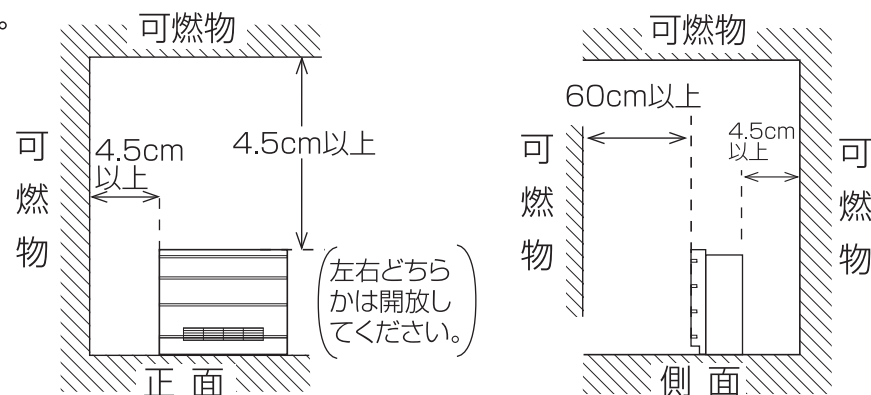
■風が直接家具や壁、天井、カーテンなどに当たるところ
- ●シミがついたり、変形や故障の原因になります。

■直射日光のあたるところ、暖房器具の近くや上
- ●変形・変質や故障の原因になります。

■ほこりが多いところ
- ●ほこりの多いところ、ホコリの多い台の上などで使用しないでください。

■磁気の多いところ(テレビ・ラジオなど)の近く
- ●正常に動作しないことがあります。

**本体は可燃物より必ず図に示す距離を離して設置してください。**

●故障や事故の原因となります。

# 使いかた 加湿をご使用の前に…… タンクに水を入れる

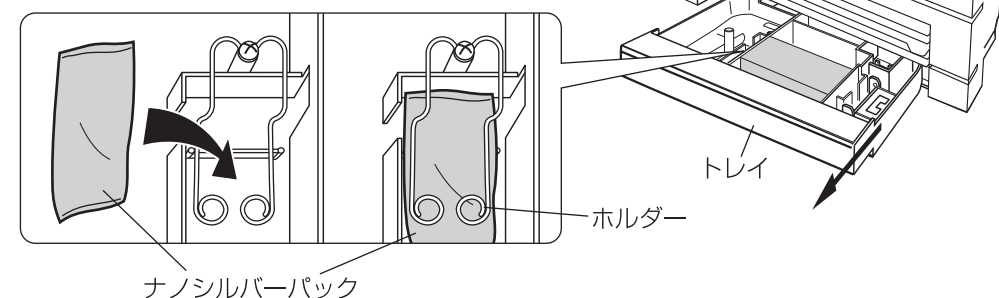
**❶ タンクカバーをはずす。**

タンクカバーを本体後ろ側に向かってスライドさせて外します。

**❷ タンクを取り出す。**

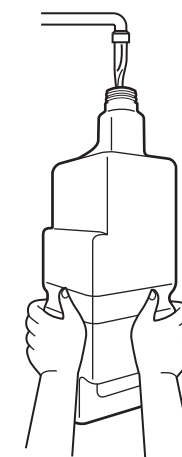
取っ手を持って上に持ち上げます。

**❸ トレイを引き出し、ナノシルバーパックをセットする。**

ナノシルバーパックを1パック、ホルダーの下に入れてトレイを本体にセットしてください。
※タンクを取り出さないとトレイは引き出せません。

**❹ タンク栓を左に回してはずし、タンクに水を入れる。**

- ●必ず水道水(飲用)をそのまま使用してください。
- ●タンクはプラスチック製です。落としたり衝撃を与えると割れることがあります。特にタンク表面に水滴が付着しているときは、すべりやすいので両手でしっかりともってください。
- ●注水後はタンク栓を確実に締め、水がもれないことを確認してください。こぼれた水は乾いた布でふき取ってください。

必要以上に強く締めないでください。水がもれる場合があります。

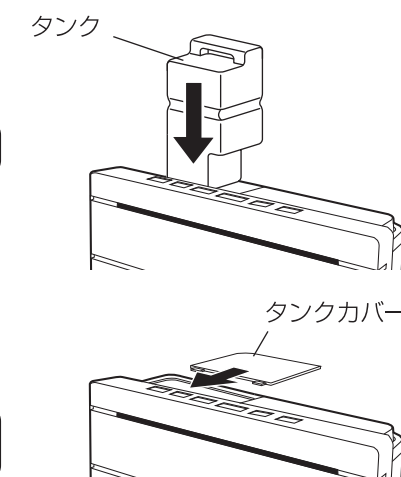
| ⚠警 告 | ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。<br>火災や故障の原因となります。 |
|---|---|

**❺ トレイを本体にセットする。**

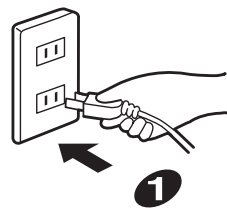
トレイを奥まで押し込みます。
トレイが本体から飛び出していないことを確認してください。

トレイが飛び出したまま使用すると、故障や事故の原因になります。

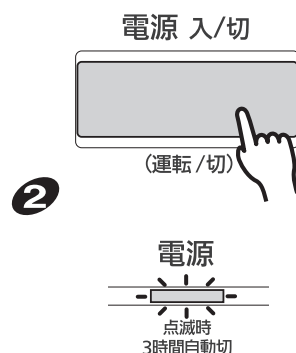
**❻ タンクを本体にセットし、タンクカバーを取り付ける。**

タンクカバーは本体前面にスライドさせ、取り付けます。
タンクは落としたりしないで、ゆっくりとセットしてください。
タンクが傾いていないことを確認してください。

タンクの着脱を繰り返すと、水受けの水量が増しますので、着脱は繰り返さないでください。

# 使いかた 温風運転

❶ さし込みプラグをコンセントにさし込む。

❷ 「電源ボタン」を押す。

●電源ランプが点灯し、温風運転が開始できる状態になります。

※加湿運転をご使用にならない場合でも、タンクがセットされていることを確認してください。

❸ 「温風切換ボタン」を押し、お好みの温風運転に切り換える。

●温風切換ボタンを押すと、温風表示ランプの「弱」が点灯し、温風「弱」で運転を開始します。
●温風切換ボタンを押すたびに、「弱」「強」と運転が切り換わります。

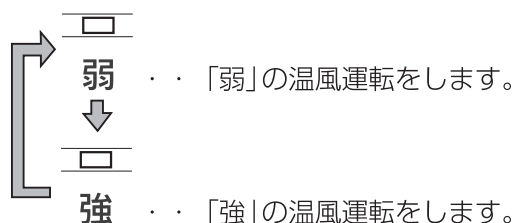
弱 ・・「弱」の温風運転をします。

強 ・・「強」の温風運転をします。

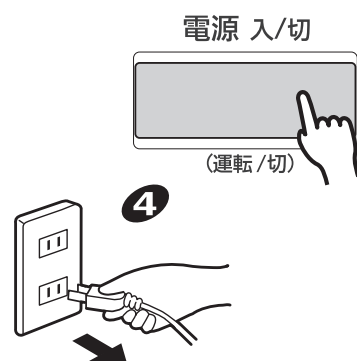
温風切換

(運転 /入)

温風切換

弱 強

※『弱』『強』どれか一つでも不具合が生じた場合には直ちに使用を中止してください。
（例：『弱』に不具合が生じたが、『強』であれば正常に作動する。）

❹ 使用後、「電源ボタン」を押して「切」にする。

●全てのランプが消灯し、約30秒送風した後、運転停止します。
●外出時や長時間使用しないときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

運転を開始すると自動的に3時間の切り忘れタイマーがはたらきます。3時間経過すると、ブザー音が鳴り運転が停止し『電源』ランプが点滅します。
切り忘れタイマーが働き、運転停止後再度ご使用の場合は、『温風切換ボタン』を押して運転を開始してください。停止前の状態で運転を開始します。
※タイマー設定したときは、タイマー設定が優先され、設定時間経過後、電源が切れます。



# 使いかた 温風＋加湿運転

※加湿運転の前に、6ページの「加湿をご使用の前に」をご覧ください。
※加湿運転は温風運転中でないと運転しません。

❶ さし込みプラグをコンセントにさし込む。(☞7ページ)

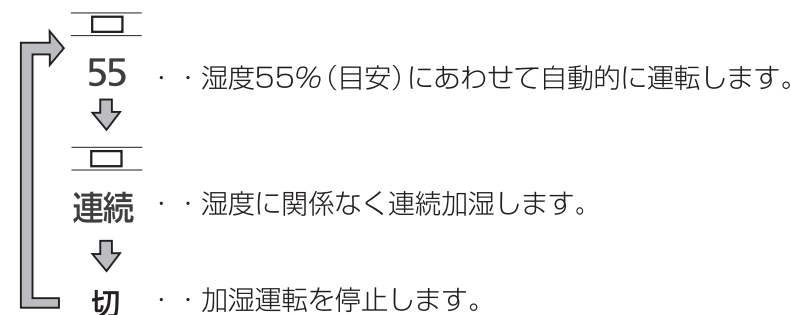
❷ 「電源ボタン」を押す。(☞7ページ)

●電源ランプが点灯し、温風運転が開始できる状態になります。

❸ 「温風切換ボタン」を押し、お好みの温風運転に切り換える。(☞7ページ)

●温風切換ボタンを押すと、温風表示ランプの「弱」が点灯し、温風「弱」で運転を開始します。
●温風切換ボタンを押すたびに、「弱」「強」と運転が切り換わります。

❹ 「加湿設定ボタン」を押し、お好みの加湿運転に切り換える。

●加湿設定ボタンを押すと、加湿設定ランプの「55」が点灯し、加湿運転を開始します。
●加湿設定ボタンを押すたびに、図のように「55」「連続」「切」と運転が切り換わります。

**お知らせ** 同じ室内でも温度差や空気の流れなど、場所や高さによって湿度が違う場合があり、お手持ちの湿度計の表示と差が出ることがあります。加湿設定は目安としてお使いください。

めやす

| 加湿設定55%による自動運転の場合 | |
|---|---|
| ●お部屋の湿度が55%より低い場合 | 加湿します。 |
| ●お部屋の湿度が55%の場合 | 加湿したり、止まったりします。 |
| ●お部屋の湿度が55%より高い場合 | 加湿しません。 |

❺ 使用後、「電源ボタン」を押して「切」にする。(☞7ページ)

●全てのランプが消灯し、しばらく約30秒送風した後、運転停止します。
●外出時や長時間使用しないときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。

**タンクの水がなくなると・・・・・**

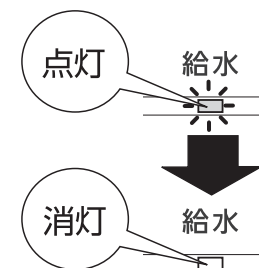
●加湿が止まり、給水ランプが点灯しブザー音が鳴ってお知らせします。
●給水ランプが点灯していても、温風運転は停止しません。

点灯 給水

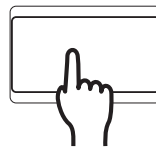
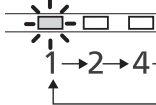
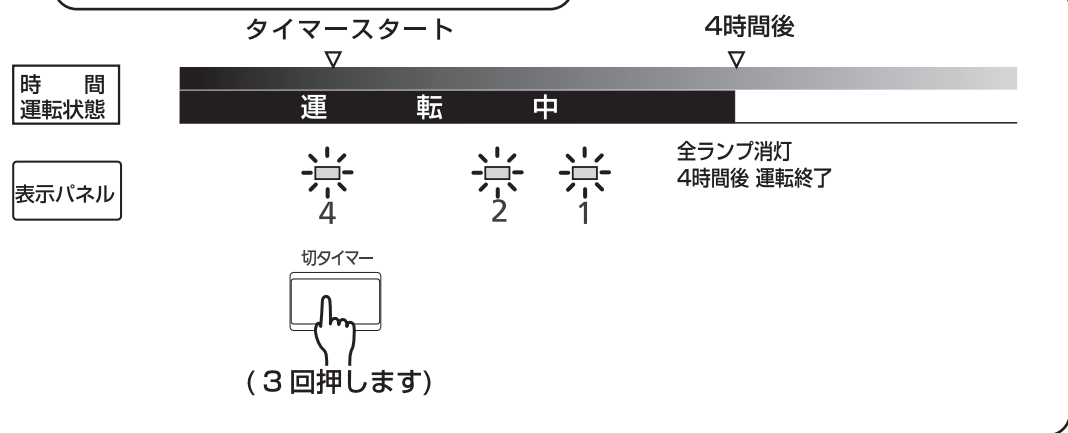
消灯 給水

**続けて加湿運転される場合はタンクに水を給水します**

■続けて加湿運転される場合には、必ず電源ボタンを切にしてさし込みプラグをコンセントから抜き、タンクに給水してください。

**お知らせ** タンク満水で約7時間運転できます。（連続運転、室温20℃、湿度30%）
※室内の温度、湿度により時間は変わります。

# 使いかた 切タイマー運転

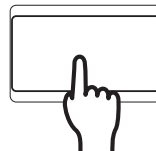
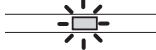
※ まず、お好みの運転状態にします。
※ 設定した時間が経過すると、運転を停止します。

■ 「切タイマーボタン」を押す。
- ●切タイマーランプの「1」が点灯します。
- ●切タイマーボタンを押すたびに図のように「1」「2」「4」と変わります。
- ●切タイマーランプは、残り時間の目安を表示し、時間の経過につれて切タイマーランプの表示が切り換わります。
- ●設定時間がたつと、約30秒送風した後、自動的に運転を停止します。

※タイマー設定時間終了後、再度運転する場合は『電源ボタン』を押して、電源ランプが点灯してから『温風切換ボタン』を押して運転を開始してください。
※タイマー設定を解除した場合は、解除した時点から3時間の切り忘れタイマーが設定されます。

# 使いかた イオン運転

※ イオン運転は温風運転中でないと操作できません。

■ 「イオン運転ボタン」を押す。
- ●運転中にイオン運転ボタンを押すと、イオン運転ランプが点灯し、イオンがイオン発生部より発生します。
- ●もう一度押すと、イオン運転ランプが消灯し、イオンの発生を停止します。

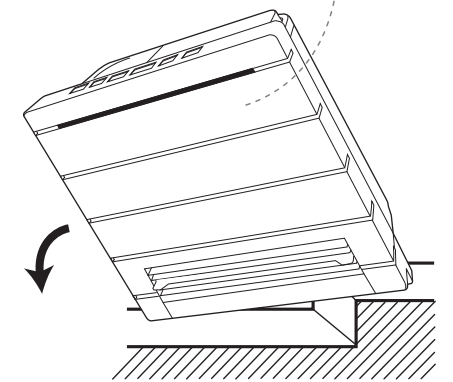
**お知らせ** イオン発生部からわずかにオゾン臭や放電音がする場合がありますが異常ではありません。

# 使用上のご注意

## 転倒OFF（オフ）スイッチについて

転倒OFFスイッチは、本体が転倒などした時に、異常過熱を防止するための安全装置です。

- ●本体が転倒したり大きく傾くと転倒OFFスイッチが作動してヒーターへの通電を遮断します。
- ●平らな場所に置き直し、電源ボタンを押して「入」にすると、温風運転が開始できる状態になります。

※本体が傾くような不安定な場所で使用しますと、通電しない場合がありますので、必ず水平で安定した場所でご使用ください。

| ⚠ 注 意 | トレイの水がこぼれた場合は、さし込みプラグをコンセントから抜いて床面や本体についた水をふき取ってください。 |
| --- | --- |

## メモリー（記憶）機能について

さし込みプラグをコンセントにさし込んでいるときは、電源ボタンを「切」にしても切る前の運転状態を記憶しています。

- ●電源ボタンを「入」にし、温風切換ボタンを押すと、切る前の運転状態になります。
- ●タイマーの設定は記憶されません。
- ●電源ボタンが「切」でも、設定状態を記憶するため約1Wの電力を消費しています。

さし込みプラグを抜いたり、トレイを抜くと、記憶されている内容は消えます。

## 温度過昇防止器について

誤った使いかたをすると、内蔵の温度過昇防止器（サーモスタット）がはたらき、運転を停止します。

### 温度過昇防止器（サーモスタット）がはたらく原因

- ●近くに他の暖房器具などがある。
- ●フィルターが汚れてつまっている。
- ●吸気口がふさがれている。
- ●温風吹出口付近に障害物がある。
- ●机の下など狭い囲まれた場所で使用している。

### 温度過昇防止器（サーモスタット）がはたらいた場合

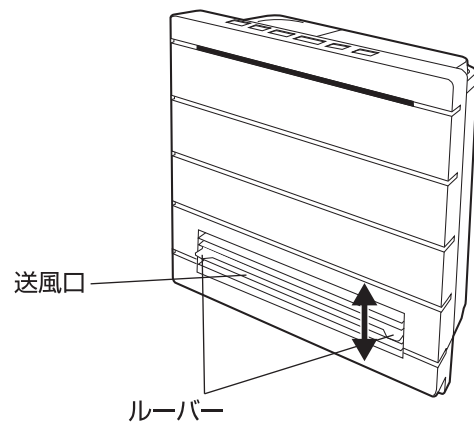
① 電源ボタンを「切」にし、さし込みプラグを抜いて、本体をよくさます。
② 点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除く。

# 使用上のご注意 つづき

## 風向調節するとき

**風向調節ルーバーで調節できます。**

ルーバーを持って上下に動かします。
※調節範囲以上に動かさないでください。

| ⚠ 注 意 | 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口(ルーバー)が高温となるので触れない。 |
| --- | --- |

## 音とにおいについて

- **操作部からカチッと音がするのは、**送風機やヒーターを作動させるときの音で、故障ではありません。
- 初めて運転をされるときは、においが出ることがありますが、ご使用にともない出なくなります。
- 水が腐り、においの原因となりますので、加湿運転を使用しないときはタンクとトレイの水を捨ててください。

## 凍結・結露について

- 凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。そのままにすると、破損・故障の原因となります。
- タンク・トレイ内の水が凍結した状態で運転しないでください。
- 冷たい水を入れると、タンク表面に露がつくことがあります。乾いた布でふいてください。

## 雑音防止について

ラジオ・ＡＶ機器・補聴器・電話・パソコン(ワープロ)などを近付けて使用すると雑音が入ることがあります。
このようなときは、本体から50cm以上離してご使用ください。また、他のコンセントをご使用ください。

# お手入れと保管

**お手入れのときは、必ずさし込みプラグをコンセントから抜いてください。**
感電やけがをするおそれがあります。

**加湿運転を約180時間程行うとお手入れランプが点灯し、加湿フィルターとトレイのお手入れ時期をお知らせします。(お手入れランプが点灯していなくても3週間に1回はお手入れをしてください)**
※お手入れランプが点灯しても運転は停止しません。
※ご使用の状況によりお手入れランプの点灯時期は異なります。

## トレイ

**❶ 運転を停止し、さし込みプラグを抜いて、本体を冷ます。**

**電源が入ったまま、トレイをはずすと電源が切れます。**
**本体内部に電極部があり、触れると故障の原因となります。**
**本体内に手を入れないようご注意ください。**

**❷ タンクカバーを外し、タンクを取り出す。**

(タンクのはずしかた ☞6ページ)

**❸ トレイをはずし、加湿フィルター、ナノシルバーパックを取り出す。**

**加湿フィルターは水分を多量に含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでバケツなどを用意し、その中に加湿フィルターを入れてください。**

**❹ トレイに残った水を捨てる。**

**❺ 水洗いをし、汚れをふき取る。**

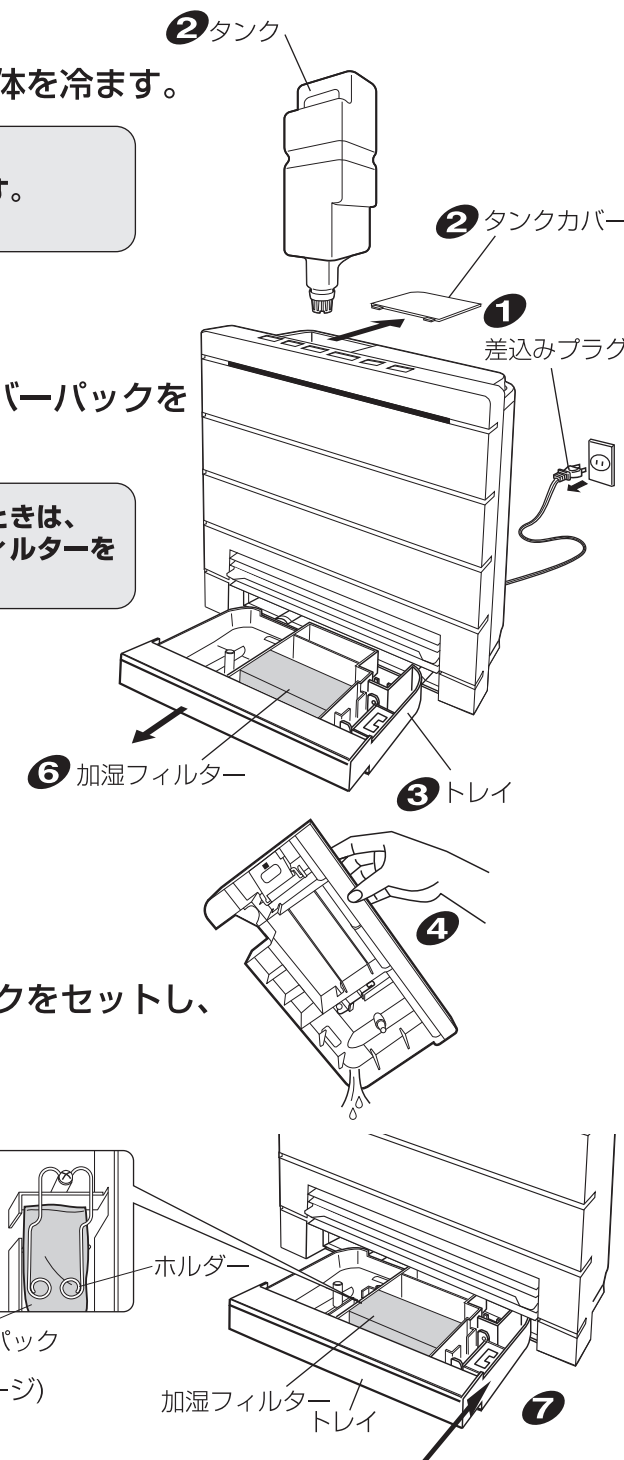
やわらかい布で、水あかなどの汚れをふき取ります。
細部は、綿棒や歯ブラシなどで汚れを落としてください。

**洗剤を使用しない。**

**❻ 加湿フィルターをお手入れする。**

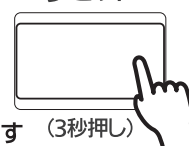
(加湿フィルターのお手入れ ☞13ページ)

**❼ トレイに加湿フィルターとナノシルバーパックをセットし、本体にさし込む。**

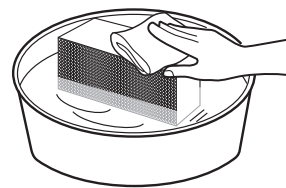
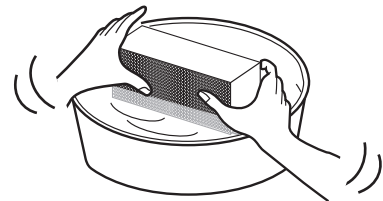
トレイを取り付けるときは、奥まで押し込んでください。
奥まで入っていないと通電しないことがあります。

### お手入れの後

**① タンク・タンクカバーをセットする。** (☞6ページ)
**② さし込みプラグをコンセントにさし込む。**
**③ 操作部の『リセットボタン』を約3秒間押す。**

お手入れランプが消灯します。

※お手入れランプが点灯していない場合でも、お手入れ後は『リセットボタン』を操作音“ピー”が鳴るまで、約3秒間押し続けてください。

# お手入れと保管 つづき

## 加湿フィルターのお手入れ

❶ 水またはぬるま湯をひたしたやわらかい布でフィルターの水アカ汚れをふき取ってください。

❷ 水またはぬるま湯の中で振り洗いし、汚れや水アカを落としてください。ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取ってください。

- 加湿フィルターの洗浄には、洗剤やクエン酸を使用しないでください。
- 表面を強くこすったり、波形状をつぶさないように取り扱いにご注意ください。
- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物(鉄･カルシウム･マグネシウムなど)や空気中のほこりなどによるものですので、使用上の不具合はありません。
- 表面に水あかが残っていても使用できますが、1シーズン(約6ヶ月)を目安に交換してください。

**加湿フィルターにごみや汚れが付着すると加湿能力の低下や、雑菌の繁殖による悪臭の原因になります。**

# 加湿フィルターの交換について

**1シーズン(約6ヶ月)に1回交換してください。また、1シーズン(6ヶ月)以内でも汚れや水アカが落ちない場合は交換してください。運転状態や使用頻度によって汚れ具合が異なります。**

- 交換のしかたは、別売の交換用加湿フィルターの箱に記載の説明書をご覧ください。
- 使用済の加湿フィルターは水分をよく取り除き、不燃ゴミとして捨ててください。

**交換用加湿フィルター**

**お求めは、お買上げの販売店でお買い求めください。**

**形式： HLC−12F**
**希望小売価格：1,470円(税込)**
(希望小売価格は2011年8月現在のものです。)

# ナノシルバーパックの交換について

**1シーズン(約6ヶ月)に1回交換してください。**

**交換用ナノシルバーパック**

**お求めは、お買上げの販売店でお買い求めください。**

**希望小売価格：315円(税込)**
(希望小売価格は2011年8月現在のものです。)

**タンクの水は毎日新しい水と入れ替える。** においの原因となります。

## タンク

❶ 本体から取り出し、タンク栓をはずし残りの水を捨てる。
(タンクの取り出しかた ☞6ページ)

❷ 新しい水道水を1/3程度入れ、キャップを締めて振り洗いをする。

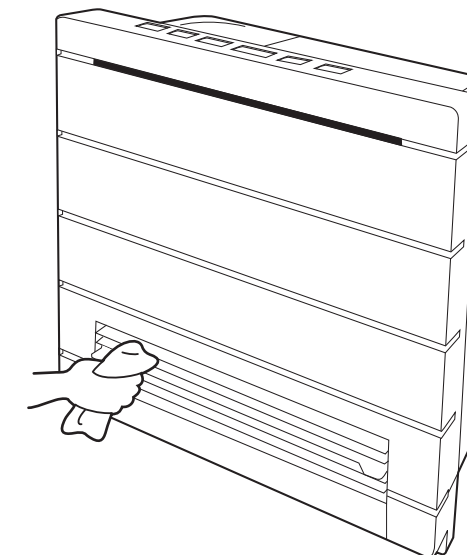
2〜3回行ってください。

❸ タンク栓や取付部も、水洗いしてください。

**※洗剤を使用しない。**
**※長時間洗浄しないで使用すると、水あかなどの原因となりますので、定期的に行ってください。**

**週1回以上、お手入れを！** 汚れがひどくなると、においの発生の原因となります。

## 送風口

送風口についた汚れは、やわらかい布で軽くふき取る。

## 本 体

乾いたやわらかい布で軽くふく。
※汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤（食器用)を布にふくませ、固くしぼってふく。

**シンナー･ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しない。本体を傷めます。**

# お手入れと保管 つづき

**1週間に1回程度、お手入れを！** エアフィルターがつまると暖房能力が低下します。

## エアフィルター

❶ フィルターカバーをはずす。

フィルターカバーのつまみを下に押し下げ、手前に引く。

❷ フィルターカバーに取り付けてあるエアフィルターを、手前に引いてはずす。

❸ ホコリやゴミは、掃除機で吸いとるか、軽く手でたたいて取る。

※汚れがひどい場合は、水で軽く押洗いをし、水をよくきってから日かげで干す。

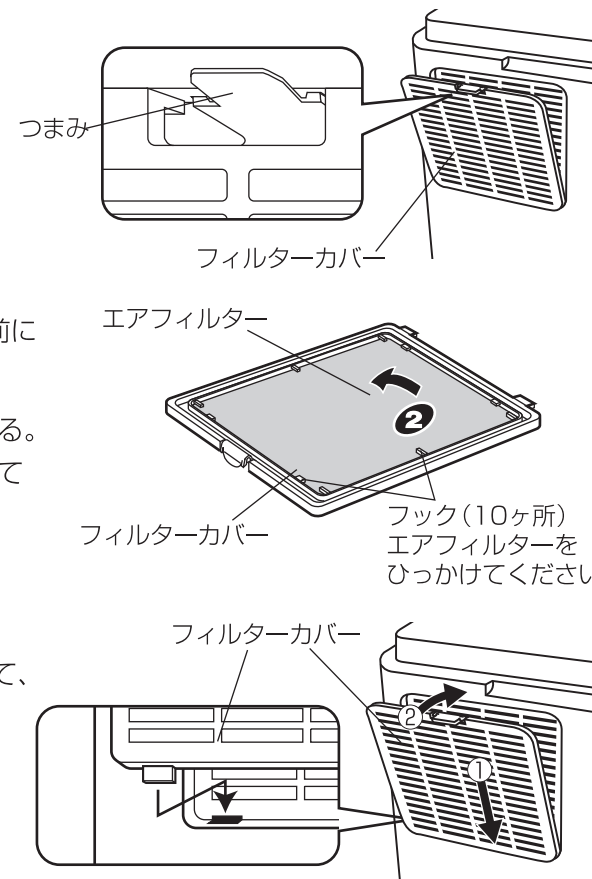
**洗剤を使用しない。**

エアフィルター

フィルターカバー

フック（10ヶ所）
エアフィルターを
ひっかけてください。

❹ 掃除後は、フィルターカバー(10カ所のフック)に取り付けて、本体に①、②の順に取り付ける。

**エアフィルターをはずしたまま使用しない。**
**故障の原因になります。**

## 保　管

- 排水後よく水切をして自然乾燥させ、お買上げ時の箱に入れて、湿気の少ない場所に保管する。
- 特にタンクの内部と加湿フィルターは十分に乾燥させてください。
(水が残っていると、カビの原因になります)

# 故障かな？と思ったら

**修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。**

| こんなとき | おたしかめください |
| --- | --- |
| 湯気（蒸気）がでない | ●この製品の加湿方式は、気化方式なので湯気は見えません。 |
| 運転しない | ●差込みプラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか?<br>●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？<br>●電源ランプが点滅していませんか？<br>→『温風切換ボタン』を押して運転を開始してください。<br>●トレイがはずれていませんか？<br>→トレイがちゃんと取り付けられていないと電源がはいりません。<br>●転倒OFFスイッチが働いていませんか？<br>→本体を水平な場所に置いてください。 |
| 風の出が少ない | ●エアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか？<br>→エアフィルターをお手入れしてください。<br>●加湿フィルターに水アカやごみが付着していませんか？<br>→加湿フィルターをお手入れしてください。 |
| 部屋の湿度が上がらない | ●部屋が適用床面積より広すぎませんか？<br>→適用床面積の範囲でお使いください。<br>●換気をしていませんか？<br>→窓、戸を閉めてお使いください。 |
| ニオイが出る | ●加湿フィルター、トレイが汚れていませんか？<br>→加湿フィルター、トレイのお手入れをしてください。<br>●ナノシルバーパックを入れ忘れていませんか？ |
| タンクに水があるのに給水ランプが点灯する | ●タンクが確実に本体に入っていますか？<br>●本体が傾いていませんか？<br>→本体を水平な場所に置いてください。 |

# 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

**アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（☞18ページ）にお問合わせください。**

| | | |
|---|---|---|
| **❶保証書**（別添） | | 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。<br>保証期間はお買い上げの日から１年です。 |
| **❷修理を依頼されるときは** 持込修理 | | 「故障かな？と思ったら（☞16ページ）」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ずさし込みプラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 |
| | 保証期間中 | 修理に際しましては保証書をご提示ください。<br>保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。 |
| | 保証期間経過後 | 修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。 |
| **❸補修用性能部品の保有期間** | | 当社は、この加湿セラミックファンヒーター補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。<br>●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。 |
| **❹ご転居されるときは** | | ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。 |
| **❺修理料金のしくみ** | | 修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。<br>技術料：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検等の作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費、一般管理費等が含まれています。<br>部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。<br>出張料：商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

# 仕　様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 定　　格 | 交流100V　1200W／1100W　50／60Hz |
| 寸　　法 | 高さ 約42.5cm × 幅 約42cm × 奥行 約19.5cm |
| 質　　量 | 約5.7 kg（タンク空時） |
| コ ー ド | 約1.8 m |
| 発 熱 体 | セラミックヒーター |
| 加　　湿 | フィルター気化式加湿、タンク容量約3.0L、加湿量 約400mL/h（連続） |
| タ イ マ ー | 最長4時間　切タイマー |
| 加湿適用床面積（目安） | 木造和室　11m²（7畳）まで　プレハブ洋室　18m²（11畳）まで |
| 安 全 装 置 | 転倒OFFスイッチ<br>温度過昇防止器（温度ヒューズ　73℃ー15A（温風用）／サーモスタット）<br>電流ヒューズ …… 20A |
| 電気代（1時間あたり）50/60Hz | 約26.4／24.2円（1200W／1100W） |

※電気代は室温20℃で測定し、新電力料金目安単価を22円／kWh(税込)として計算しております。
ただし、電力会社およびご家庭の電力使用量、器具の使用条件などにより多少異なります。
※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。



# ご相談窓口

## 家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

**修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ**

TEL 0120ー3121ー68
FAX 0120ー3121ー87

（受付時間）
9:00～19:00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

**商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ**

TEL 0120ー8802ー28
FAX 03ー3260ー9739

（受付時間）9:00～17:30（月～金）／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

| | |
|---|---|
| 保証期間中は | 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 |
| 保証期間が過ぎているときは | 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。 |
| 保証期間 | お買い上げの日から1年です。 |

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。

**愛情点検**

**●長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を！**

●加湿セラミックファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

**ご使用の際このようなことはありませんか**

- ●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
- ●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ●差込プラグ、電源コードなどが異常に熱い。
- ●焦げ臭いにおいがする。
- ●その他の異常や故障がある。

**お願い**

故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。